

令和7年度 神崎学区地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・学区内の町内、団体の事務負担の一層の軽減ができた。
・昨年度とほぼ同様の行事を開催することができ、学区民の連帯を保つことができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	神崎学区町民運動会	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__7__年9__月__28__日	
(2) 実施場所	神崎小学校	
(3) 参加者数	__500__ 人	
(4) 主催団体	団体名__神崎学区連合町内会__	
4 取組内容		
・風船割り、パン食い競争、玉入れなど幼児から高齢者まで参加できる競技 ・町対抗リレー、輪抜き、ムカデ競争などの団体競技など		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 学区住民同士の交流や健康増進を図るとともに、町対抗競技などによる隣近所の住民同士の絆づくりなどを目的に、学区全体を対象とした町民運動会を開催した。		
(2) 効果 ・子どもから大人まで参加する競技により幅広い世代の参加を募り、多世代間の交流を図ることができた。 ・普段運動しない方にも声を掛け、練習のときから多くの町民が一緒になって取り組むことで、町内での一体感の醸成が見込まれるとともに、町民の健康増進を図ることができた。		

1 事業名	わいわい神崎	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 1 0 月 2 6 日	
(2) 実施場所	神崎小学校	
(3) 参加者数	8 0 0 人	
(4) 主催団体	団体名 ふれあい推進委員会	
4 取組内容	・ オープニングアトラクション ・ 食品バザー ・ 迷路 ・ 体力測定、健康フェア ・ ストラックアウト など	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・ 参観日に合わせて開催し、子どもたちと地域住民との交流が図れる。 ・ 子どもからお年寄りまで参加できる様々なプログラムを通じて、三世代間の交流を図り、学区のにぎわいづくりなどにつなげることを目的としたイベントとして、わいわい神崎を開催した。 (2) 効果 ・ 多くの方が参加できるイベントとすることで、普段はなかなか交流する機会のない住民同士の交流や子どもたちとの交流を促進し、日頃からの関わり合いも生まれた。		

1 事業名	神崎学区とんど祭り	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年 <u>1</u> 月10日 ～ 令和8年 <u>1</u> 月11日	
(2) 実施場所	神崎小学校	
(3) 参加者数	<u>1000</u> 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>神崎地区青少年健全育成連絡協議会</u>	
4 取組内容	・ 竹取り等資材の調達 ・ とんどの組立て, 飾り付け ・ とんど点火 ・ 餅を焼き、1年間の健康等を祈願 など	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	神崎学区で40年以上続く伝統行事であり、その伝統を次世代に継承するとともに、学区民の健康とご多幸、子ども達の学業向上を祈願するための年頭を飾る祭りとして、とんど祭りを開催した。	
(2) 効果	・ とんどのやぐらに使用する竹の伐採などの準備段階から学区住民で協力して行うことにより、住民同士の絆づくりに繋がった。 ・ 多くの子どもたちが、とんどの作成や飾付けの手伝いを行い、交流を深めた。 ・ やぐらの作製は専門的な知識を要するため、多くの住民が関わって準備を行うことでノウハウを継承し、持続可能な行事として継続していくことにより、地域の伝統を守ることができた。	

1 事業名	神崎学区被爆証言集「語ることあり」(増刷)	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 5 月	
(2) 実施場所	神崎小学校	
(3) 参加者数	400 人	
(4) 主催団体	団体名 神崎学区連合町内会	
4 取組内容	・ 平成 24 年に作成した“戦中・戦後の混乱期に生きた神崎小学校の関係者の証言集「語ることあり」”の残り部数が少なくなったため、被爆 80 周年を契機に増刷し、毎年開催している「原爆死没者慰霊式」とともに、幅広く活用し、次世代への継承を図る。 400 部を増刷した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・神崎学区民の原爆による被害と平和への思いの次世代への継承のためにより多くの方々に読んでいただくため	
(2) 効果	・年々薄れていく原爆による悲劇が、この本を通して児童を含め学区民全員で確認し、次の世代に引き継がれる一助となった。	

1 事業名	神崎学区敬老会	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__7__年6月1日	
(2) 実施場所	神崎小学校	
(3) 参加者数	__400__ 人	
(4) 主催団体	団体名__神崎学区社会福祉協議会__	
4 取組内容	・ 保育園児の歌と踊り、小学生のビデオレター ・ 地元出演者の舞台鑑賞 ・ 食事交流会など	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域のお年寄りの長寿と健康を祝い、お年寄り同士の歓談のひと時を過ごす場となった。 コロナ禍で3年間、敬老会を実施できず一昨年から再開したが、お年寄りが閉じこもり状態が続いていることから、敬老行事でふれあいの場を提供することが必要である。	
(2) 効果	お年寄りが、地域の中で見守られていることを実感していただけること。さらにお年寄り同士が、お互いが元気であることを確認しあうこと。さらに町内会が敬老会行事实施において、地域の高齢者の存在を再確認できること。 以上のことにより、高齢者の社会参加、交流、見守り、孤独防止等に繋がった。	

1 事業名	地域猫活動	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	神崎学区内	
(3) 参加者数	30 人	
(4) 主催団体	団体名 神崎学区連合町内会	
4 取組内容	野良猫によるふん尿被害、空き家などで生まれる子猫、猫が好きな人と嫌いな人の間でのトラブルなどの野良猫問題について、野良猫を適切に管理することでこれ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせる。 ・エサやり、トイレの場所、捕獲器の設置場所を設ける。 ・捕獲後、動物病院に搬入し、不妊去勢手術後、猫を元の場所に戻す。 ・引き続き、エサやり等を行い、一代限りの生を全うさせる。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 野良猫に不妊去勢手術をするなど適切な管理を行って、野良猫の数を減らすことで野良猫問題を解決し、「住みよい地域」をつくるための活動を実施した。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 野良猫の寿命は4～5年と短く、この活動を続けていくことで猫の数が減り、ふん尿被害も減ってくる。また、今いる野良猫を駆除しても、他所からすぐに別の野良猫が流入してくるため、手術した野良猫にテリトリーを守らせ、他所からの流入を防ぐ。さらに、手術済みの猫は発情の鳴き声やケンカがなくなり、おしっこのにおいも薄くなる。 以上のことにより、「住みよい地域」を作ることに向けた取り組みを着実に進むことができた。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容